



# 「できた！」

## No.44

文責 校長 木下和敏

### 人権集会を開催しました

大園小学校では11月13日(月)～12月8日(金)の期間を「大園小人権月間」として、子どもたちの発達段階に応じた人権学習に取り組んでいます。12月1日(金)には、子どもたちが体育館に集まって、人権集会を開催しました。

1年生は「ふわふわボックス」に集めたふわふわ言葉をたくさん発表してくれました。困っている友達がいたら「大丈夫?〇〇してあげるね。」など優しい言葉がたくさんありました。「人間っていいな」を替え歌にして元気いっぱい歌うことができました。

2年生は「いいとこ列車」の取り組みを発表してくれました。友達の良いところを見つけて、たくさん「いいとこ列車」に乗せてあげることができました。仲良しの輪を広げるために、「手をつなごう」の歌を体いっぱい表現しながら合唱することができました。

3年生は、友達にありがとうの気持ちを伝えるための「ありがとうの木」の取り組みを発表してくれました。大きな模造紙に描かれた「ありがとうの木」にはたくさんの「ありがとうの葉」が貼られてありました。合唱「帰り道」は心を込めて歌うことができました。

4年生は総合的な学習の時間「福祉」において、障がいがある方々から学んだことを発表してくれました。障がいがある人もない人も同じように付き合っていく大切さを肌で感じたことから、「友達になるために」を手話をしながら合唱してくれました。

5年生は「人権とは何か?」「なぜ人権集会を行うのか?」などの疑問から人権学習をスタートさせ自分の考えを出し合う中で友達と考えを深めたことを発表してくれました。そこから生まれた思いを「いのち」「友だち」「いじめ」の3つの詩に表現して発表してくれました。(次ページ参照)

6年生は「思いやりの心を持った行動をしよう」をめあてに取り組んだ結果を報告してくれました。「できた」が約72%、「できなかった」が約28%でした。みんながいい気持ちになるように相手のことを考えて行動することが大切だとまとめ、谷川俊太郎の「生きる」を朗読してくれました。

教頭先生から「人権とは、安心して自分らしくいられること。」そのために、どのようにふるまえばよいのかという問いに「5つの誓い」(腰塚勇人)を用いてお話いただきました。

「口は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう…」

「目は人のよいところを見るために使おう…」

「耳は人の言葉を最後まで聴いてあげるのに使おう…」

「手足は人を助けるために使おう…」

子どもたちも真剣に耳を傾けていました。

わずか1時間の人権集会でしたが、子どもたち一人一人の努力が光る集会となり、学び多い貴重な時間となりました。

#### 子どもも大人も交通安全

右の新聞記事(長崎新聞)は、交通指導員の山隈さんが投稿したものです。11月29日に開催されたPTA評議員会において、交通事故発生率のデータなどを用いて、子どもたちが交通事故にあう危険性をお話いただきました。信号機がない横断歩道での事故が心配されます。横断歩道付近ではすぐに止まれるスピードでの運転が望まれます。子どもたちも止まって確認するよう御家庭でも御指導ください。

交通ボランティア  
山隈 哲士(66)

児童生徒の登校時に毎朝、通学路で横断旗を持って子どもたちの安全を見守っています。渋滞の車列で横断歩道がふさがれると、子どもたちはその間を通り抜けるを得なくなりました。右・左折する車の運転者からは死角になり、さらに大型車にぶさがれると信号が見えなくなり、大変心配します。横断歩道を安心して渡れるように運転者は「人優先の思いやり運転」をしてほしいです。

#### 命守る「思いやり運転」願う

子どもたちの歩行で気になるところもあります。斜めに横断したり、信号が青から赤に変わったのにダッシュしたり、歩道から車道に飛び出した

り、ひやひや感があります。特に、信号機のない横断歩道では、横断する子どもが手を挙げて手のひらを示し、横断の意志を運転者に伝えなければ自分の命を守れないことを知ってほしいです。保護者の方は、その必要な知識を子どもに身に付けさせてもらいたいのです。

交通ボランティアの高齢化となり手不足も気になるところですが、関係機関のご協力や地域の方の声に励まされ、子どもたちの笑顔やあいさつが私たちの活動の原動力となっています。悲惨な事故に遭ってほしくないよう、今日も子どもたちを見守る大切さを実感しています。(長崎市)

いのち

いのちってなんだろう  
いつかはなくなるもの  
傷つけてはいけないもの  
大切なもの

どうして  
いのちをそまつにするの  
苦しい、つらいから  
傷つけられたから  
生きている意味が  
分からなくなったから

あなたの命と私の命  
同じ重さで同じ価値

私の命がなくなると  
友達が悲しむ  
家族が悲しむ  
みんなが泣く

生きていればいろいろある  
さ  
かなしいこと  
つらいこと  
苦しいこと

苦しんでいるのは一緒だよ

だから  
私が話を聞いてあげるよ  
私がそばにいてあげるよ  
私が相談にのるよ  
私と一緒に遊ぼう

友だち

ともだちは  
仲間  
大切  
宝物

友だちといると  
毎日笑える  
たよれる  
すごく楽しい

でも友だちがいないと  
ひとりぼっちだよ  
悲しいよ  
不安だよ

だから 友だちは  
大切にしないといけない  
大事にしないといけない  
傷つけないようにしないと  
いけない  
大切な人だ

わたしは 友だちと  
仲良くあそびたい  
相談し合える仲になりたい  
おたがいを大切にしたい

いじめ

どうしてわたしをいじめるの  
きらいだから  
たのしいから  
弱いから  
理由があったらいじめていいの

いじめられた心はね  
心に傷がつく  
徐々に徐々に壊れていって  
くぎがささる

いじめた人も  
だまって周りで見ている人も  
同じいじめをしてるんだ

いじめた人の心はね  
モヤモヤした気持ちになる  
後悔したりいやな気持ちに  
なる  
けがれた気持ちになる

クラスでこんなことがある  
あだ名で呼ぶ  
悪口をいう  
しっばいをわらう

だからいじめがなくならな  
いんだ

みんなでなかよく  
みんなでやさしく  
みんなでわらって  
みんなですてきな  
楽しいクラスを作っていこう